

## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年1月31日

上場会社名 株式会社コラボス 上場取引所 東  
 コード番号 3908 URL <http://www.collabos.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 茂木 貴雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 青本 真人 TEL 03(5623)3391  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月3日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,292	7.9	229	18.2	226	16.7	153	19.6
28年3月期第3四半期	1,197	10.8	194	19.9	194	20.2	128	25.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	108.49	94.68
28年3月期第3四半期	91.44	78.56

(注) 当社は平成28年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,595	1,251	76.7
28年3月期	1,481	1,098	72.3

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 1,224百万円 28年3月期 1,071百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	0.00	0.00	0.00	0.00
29年3月期	ー	0.00	0.00		
29年3月期(予想)				ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 平成29年3月期の配当予想につきましては、現在未定です。

### 3. 平成29年3月期の業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,830	10.1	280	11.5	275	8.5	185	12.1	131.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 当社は平成28年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	1,411,800株	28年3月期	1,411,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	－株	28年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	1,411,503株	28年3月期3Q	1,400,288株

(注) 当社は平成28年12月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、依然として高水準にある企業収益や雇用所得環境の着実な改善と、内外需要による生産、輸出の持ち直しにより、景気は緩やかな回復基調が続いております。先行きについては、経済対策に伴う公共投資の増加や雇用所得環境の改善などがプラス要素となり、引き続き回復基調が続くと見込まれておりますが、米国新政権の政策の不確実性、アジア新興国経済の先行きおよび、英国EU離脱問題によるヨーロッパ経済の不透明感など、景気下押しリスクが懸念されております。

当社が属するクラウドサービス型CRM市場については、企業がシステムを自社構築するオンプレミス型を含むCRM市場全体に対し、そのシェアを5年後には約2倍以上に拡大、年平均成長率20%の高水準で推移するとも予測されており、ユーザー企業におけるクラウドファーストの方針が定着してきている状況の中、オンプレミス型からクラウドサービス型への移行が着実に本格化しつつあります。

このような環境下、当社はコールセンター向けにクラウドサービスを提供しておりますが、その中でも主力商品である@nyplace（IPネットワークを利用した電話交換機機能をクラウドで提供するインバウンド向けのサービス）を中心に売上高は順調に推移しており、COLLABOS PHONE（インターネット環境を利用したソフトフォンをベースとした電話交換機機能をクラウドで提供するサービス）について一時的な契約チャネル数（同時回線接続数）の減少はあるものの、COLLABOS CRM（コールセンター業務に特化したインバウンド向け顧客管理システムをクラウドで提供するサービス）、COLLABOS CRM Outbound Edition（コールセンター業務に特化したアウトバウンド向け顧客管理システムをクラウドで提供するサービス）等のユーザビリティの高い商品もそれぞれ順調に推移しました。COLLABOS CRM Outbound Editionについては、マーケティング・アプローチや顧客囲い込み、クロスセル・アップセル等を目的としてアウトバンド業務を積極的に実施する通信販売事業者等のニーズを基に、機能をフルバージョンアップしております。その結果、当第3四半期累計期間で売上高は1,292,217千円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は229,410千円（同18.2%増）、経常利益は226,686千円（同16.7%増）、四半期純利益は153,128千円（同19.6%増）となりました。

また、他企業との取り組みとしては、データマイニング領域の分析コンサルティングとして幅広い知見を持つ株式会社アイズファクトリーとの共同出資により、コールセンター向けのデータ解析サービスをクラウドで提供する子会社「株式会社シーズファクトリー」を平成28年11月1日に設立致しました。さらに、LINE株式会社が提供するコミュニケーションアプリ「LINE」を活用した法人向けカスタマーサポートサービス「LINE Customer Connect」と、当社が提供するコールセンター向けクラウド型顧客情報管理システム「COLLABOS CRM」との連携に向けた機能開発を開始しております。

当第3四半期累計期間における売上高、売上原価、販売費及び一般管理費の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### ① 売上高

当第3四半期累計期間において、@nyplace関連のコールセンター席数は順調に推移し、第3四半期累計期間での平均利用席数は5,736席（前年同四半期比625席増）となり売上高は1,014,845千円（同9.4%増）となりました。COLLABOS PHONEの平均利用チャネル数は610チャネル（同22チャネル減）となり売上高は76,085千円（同2.4%減）となりました。COLLABOS CRMの平均利用ID数は2,708ID（同169ID増）となり売上高は148,313千円（同6.5%増）、COLLABOS CRM Outbound Editionの平均利用ID数は622ID（同90ID増）となり売上高は33,051千円（同12.1%増）となりました。その他売上高は19,922千円（同13.7%減）となり、第3四半期累計期間で売上高は1,292,217千円（同7.9%増）となりました。

#### ② 売上原価

当第3四半期累計期間の売上原価は、691,021千円（同2.2%増）となりました。主に各サービスそれぞれで回線料、ネットワーク機器等設備の保守費用、ホスティング費用、顧客毎のコールフロー設定等の作業費用、ソフトウェア及びハードウェアの償却費用等が発生し、@nyplace関連で508,237千円（同9.8%増）、COLLABOS PHONEで87,943千円（同11.3%減）、COLLABOS CRM（含む、Outbound Edition）で81,588千円（同20.1%減）となりました。

#### ③ 販売費及び一般管理費

当第3四半期累計期間の販売費及び一般管理費は、371,784千円（同13.5%増）となりました。主な内訳は、人件費205,427千円（同6.8%増）、業務委託費、広告宣伝費、家賃等の人件費以外の経費166,357千円（同23.1%増）であります。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前年度末に比べて114,364千円増加し、1,595,667千円となりました。主な要因は、売掛金の回収に伴う現金及び預金の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前年度末に比べて38,939千円減少し、344,104千円となりました。主な要因は、未払金が増加した一方で、買掛金の支払いによる減少および未払法人税等の支払いによる減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の部は、前年度末に比べて153,304千円増加し、1,251,563千円となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期業績予想につきましては、平成28年5月6日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期累計期間の損益に与える影響はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	851,478	988,760
売掛金	214,519	196,461
前払費用	9,628	12,422
繰延税金資産	5,123	5,123
その他	2,787	1,932
貸倒引当金	△171	△157
流動資産合計	1,083,364	1,204,541
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,078	4,078
減価償却累計額	△4,078	△4,078
建物(純額)	0	0
工具、器具及び備品	341,778	353,954
減価償却累計額	△312,632	△291,017
工具、器具及び備品(純額)	29,146	62,936
リース資産	264,049	174,760
減価償却累計額	△70,448	△35,716
リース資産(純額)	193,601	139,044
有形固定資産合計	222,747	201,981
無形固定資産		
ソフトウェア	79,350	79,099
ソフトウェア仮勘定	32,273	37,885
その他	414	414
無形固定資産合計	112,039	117,399
投資その他の資産		
関係会社株式	—	6,120
長期前払費用	1,391	3,242
差入保証金	25,801	26,424
破産更生債権等	121	493
繰延税金資産	35,958	35,958
貸倒引当金	△121	△493
投資その他の資産合計	63,151	71,744
固定資産合計	397,938	391,125
資産合計	1,481,302	1,595,667

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	57,059	50,307
短期借入金	10,000	10,000
リース債務	48,975	51,148
未払金	24,598	31,525
未払費用	3,866	4,235
未払法人税等	53,164	27,032
未払消費税等	15,202	18,650
前受金	1,590	7,181
賞与引当金	4,500	—
役員賞与引当金	500	—
その他	2,091	2,892
流動負債合計	221,546	202,974
固定負債		
リース債務	161,497	141,129
固定負債合計	161,497	141,129
負債合計	383,043	344,104
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	300,925	301,014
資本剰余金	280,925	281,014
利益剰余金	489,488	642,617
株主資本合計	1,071,339	1,224,646
新株予約権	26,919	26,917
純資産合計	1,098,258	1,251,563
負債純資産合計	1,481,302	1,595,667

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	1,197,556	1,292,217
売上原価	676,072	691,021
売上総利益	521,483	601,195
販売費及び一般管理費	327,449	371,784
営業利益	194,034	229,410
営業外収益		
受取利息	81	10
受取手数料	58	58
違約金収入	1,920	1,044
雑収入	—	231
営業外収益合計	2,059	1,343
営業外費用		
支払利息	1,865	4,068
営業外費用合計	1,865	4,068
経常利益	194,227	226,686
特別損失		
固定資産除却損	59	—
特別損失合計	59	—
税引前四半期純利益	194,168	226,686
法人税等	66,129	73,557
四半期純利益	128,038	153,128



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。